

報道関係者各位

2020年5月21日

株式会社インテーム・マージャー

【IM 働き方改革に関する調査レポート vol.2】

新型コロナウイルスによるリモートワーク・時差出勤の導入などの 働き方の変化を調査

～時差出勤への取り組みは進んでいる傾向にあるものの、GW明けは全国的に企業 IP アクセス数の割合が増え、外出自粛の機運とともにリモートワーク推進が薄まっている傾向に～

約 4.7 億件のオーディエンスデータを提供する DMP 専業最大手、データマーケティングカンパニーの株式会社インテーム・マージャー（本社：東京都港区、代表取締役社長：築島亮次、以下当社）は、「働き方改革に関する調査レポート vol.2」の結果をお知らせします。

本調査では、当社が保有する約 4.7 億のオーディエンスデータ「IM-DMP(※1)」と、当社が提供する BtoB 向けリードジェネレーションツール「Select DMP(※2)」の IP アドレスと企業名を掛け合わせて取得した匿名化されたデータ（株式会社ランドスケープの日本最大の企業データ「LBC」(※3)）を活用し、企業 IP アドレスに接続している Windows ブラウザ数の推移を 2020 年 2 月 25 日（火）から 5 月 12 日（火）までの期間で集計しています。

4 月 21 日（火）に発表した第一弾の調査レポート(※4)では、2 月 25 日（火）から新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づいて緊急事態宣言が発令された 4 月 7 日（火）までの期間における「医療・福祉業」「宿泊・飲食業」「教育・学習支援」「情報通信業」の Windows ブラウザ数の推移を調査しました。

このたびの第二弾では、5 月 12 日（火）まで期間を広げ、緊急事態宣言中のリモートワークの実態を調査します。対象業界は、前回同様、「医療・福祉業」「宿泊・飲食業」「教育・学習支援」「情報通信業」の 4 業界で、2 月 25 日（火）のアクセス数を 100%とした場合の Windows ブラウザ数の変動を計測し、分析しています。（地域別調査のみ、3/3（火）を 100%としています）

なお、5 月 5 日（火）はゴールデンウィークのため祝日と見なし比較対象から省いております。

(※1) <https://dmp.intimatemerger.com/service/materials/> (※2) <https://dmp.intimatemerger.com/service/select-dmp/>

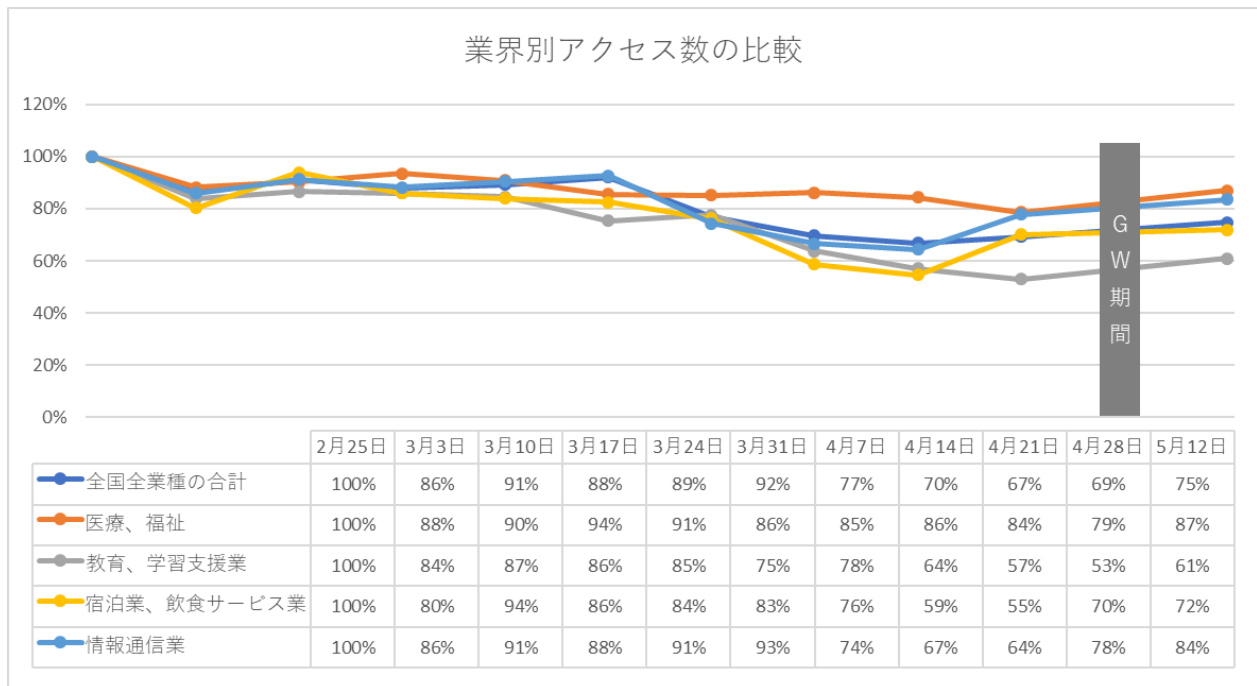
(※3) <https://www.landscape.co.jp/service/lbc/> (※4) <https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000072.000009210.html>

【調査結果まとめ】

全地域・全業界において、ゴールデンウィークを境に企業 IP アクセス数は増加傾向にあり、出勤率は高まっているが、同時に AM6 時・7 時台の出勤率も増加しており、リモートワークではなく時差出勤に切り替えている企業が多い様子がうかがえます。

<業界別>

「教育・学習支援業」「宿泊・飲食業」は、4月よりも5月の方が企業 IP アクセス数は減少してリモートワークが推進されている様子が受け取れるが、「医療・福祉業」「情報通信業」は増えており、出勤傾向が高いことが分かる。さらに、4業界の企業 IP アクセス数はゴールデンウィークを境に一律して平均 6%増加しており、全体的に出勤率が高くなっていることが読み取れる。



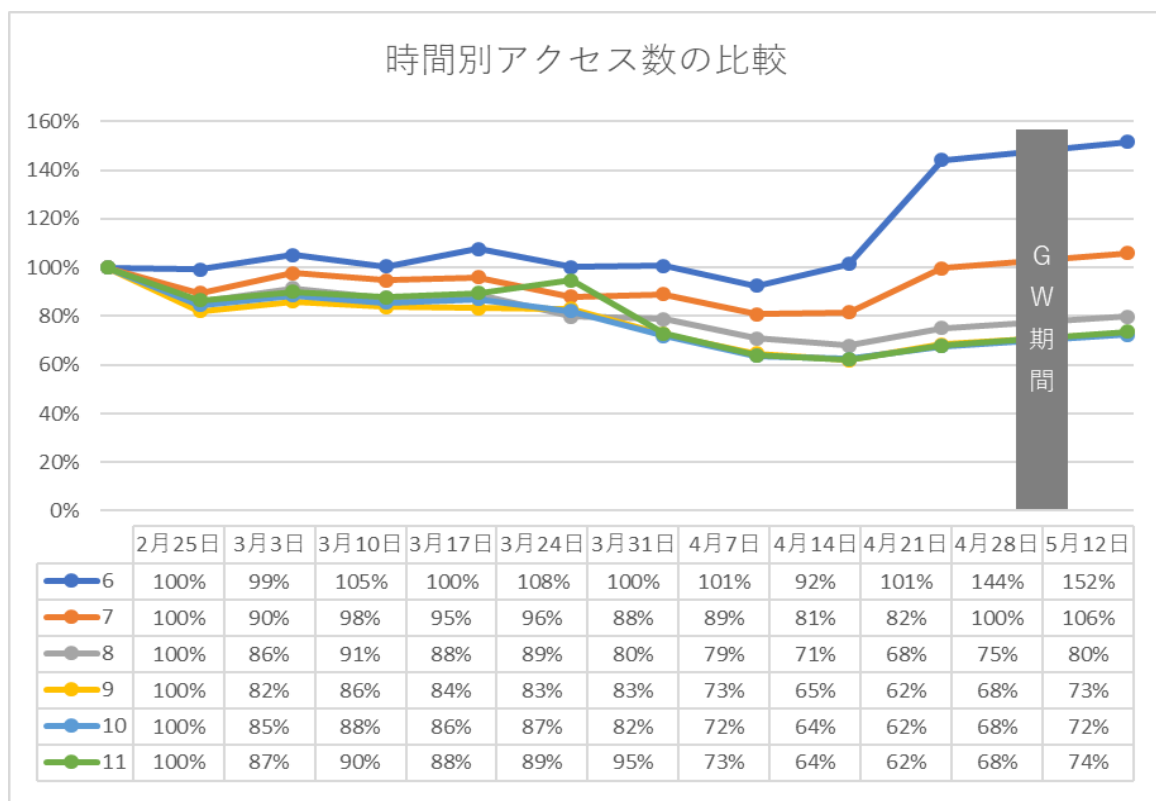
4月と5月の月初めの平日である4月7日（火）と5月12日（火）を比較。2月25日（火）を100%としたときの4月7日時点の推移は、「医療・福祉業」15%減、「教育・学習支援業」22%減、「宿泊・飲食業」24%減、「情報通信業」26%減であるのに対し、5月12日時点は「医療・福祉業」13%減(+2%)、「教育・学習支援業」39%減(-17%)、「宿泊・飲食業」28%減(-4%)、「情報通信業」16%減(+10%)と、**「医療・福祉業」「情報通信業」は増えています。**

また、ゴールデンウィーク前後の4月28日（火）と5月12日（火）を比較すると、「医療・福祉業」8%増加、「教育・学習支援業」8%増加、「宿泊・飲食業」2%増加、「情報通信業」6%増加と微増ながら**一律で平均 6%増えています。****緊急事態宣言発令から1か月が経過したゴールデンウィーク明けは、出勤禁止の企業が減ったのか、外出自粛疲れによる気の緩みからなのか、通勤する人が増えていることが読み取れます。**

<時間別>

緊急事態宣言が発令されてから 2 週間後の 4 月 21 日（火）から AM6 時、7 時に出社する人の割合が増えている。特に AM6 時台に出社する人の割合は 2 月 25 日（火）と 5 月 12 日（火）を比較すると 52%も高まっており、企業の時差出勤への取り組みが推進されていることが読み取れる。

東京都に所在している企業を対象に、AM6 時～AM11 時までの企業 IP アクセス数を比較。緊急事態宣言が発令されてから 2 週間後の **4 月 21 日（火）から特に時差出勤の傾向が強まっている**ことがグラフから見て取れます。2 月 25 日（火）を 100%としたときの 4 月 21 日（火）時点と 5 月 12 日（火）を比較すると、AM6 時台:41%増、AM7 時台:24%増、AM8 時台:12%増、AM9 時台:11%増、AM10 時台:10%増、AM11 時台:12%増。**特に情報通信業で働く人の出勤時間に大きな変化が見られ、AM6 時に出社する人の割合が増加しました。**



<地域別>

最も外出自粛傾向が強いのは大阪府、最も低いのは茨城県という結果に。ゴールデンウィーク前後の出勤率は埼玉県を除いて、調査対象の全 12 都道府県で増加しており、外出自粛の緩みが見て取れます。

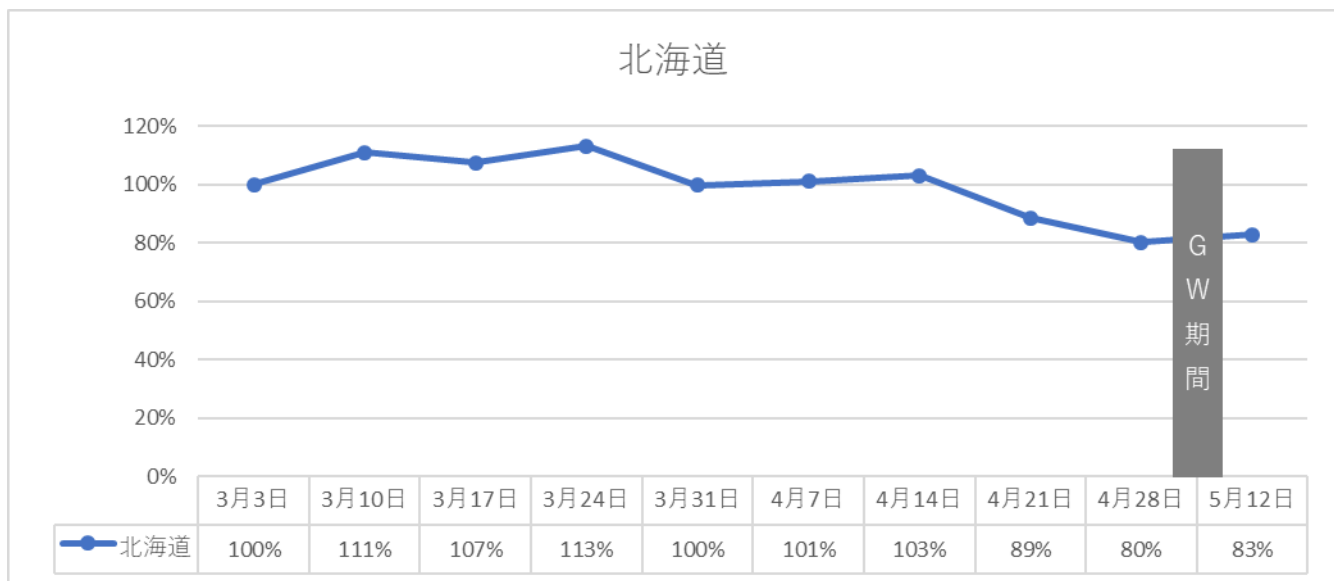
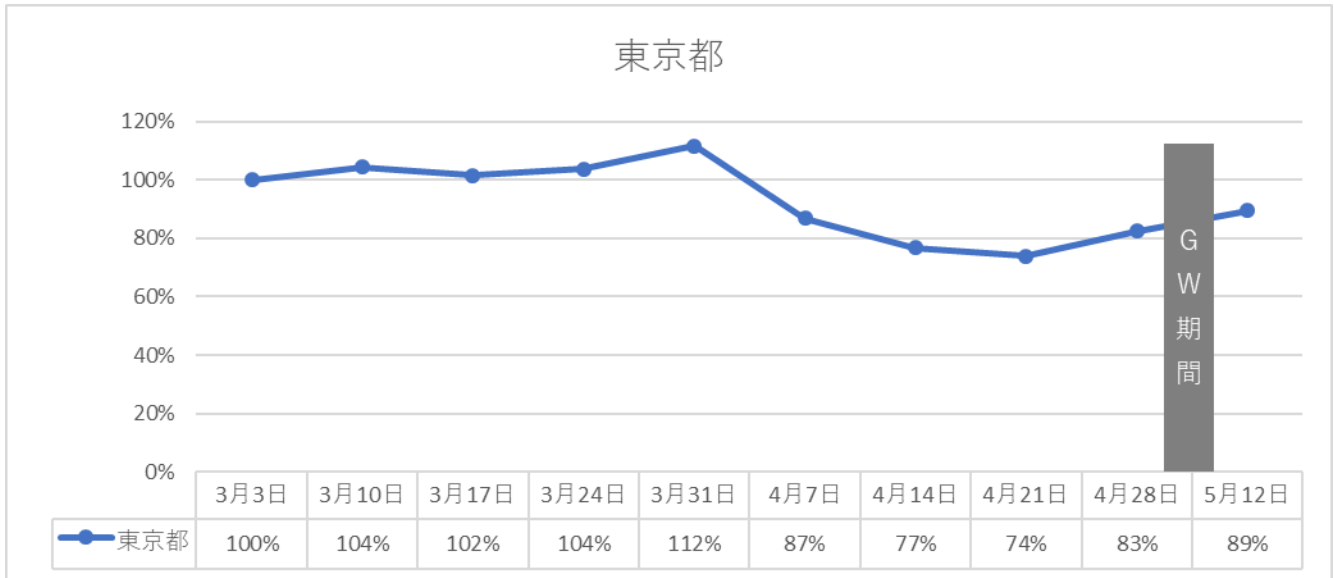
北海道、東京都含む関東 1 都 6 県、愛知県、大阪府、兵庫県、福岡県を対象に、3 月 3 日（火）を 100%とした場合の Windows ブラウザ数の変動を計測し、分析。5 月 12 日（火）時点の各都道府県の推移は以下の通りで、**感染者数が比較的多い関東圏と福岡県のパーセンテージが多く**、それ以外の**北海道、東海、近畿地方は比較的、外出自粛の傾向**が読み取れます。ゴールデンウィーク前後の同じ曜日を比較すると、全体的に増加しており、**ゴールデンウィークが明けた平日に出勤する人の割合が増え外出自粛の緩みが見て取れます。**

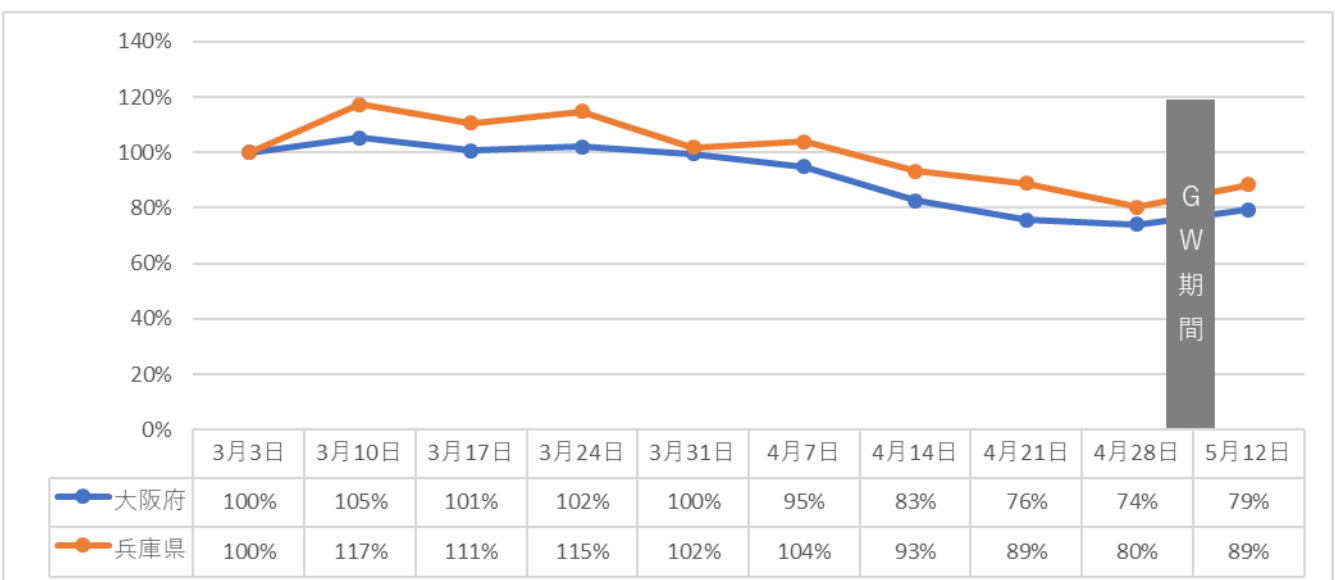
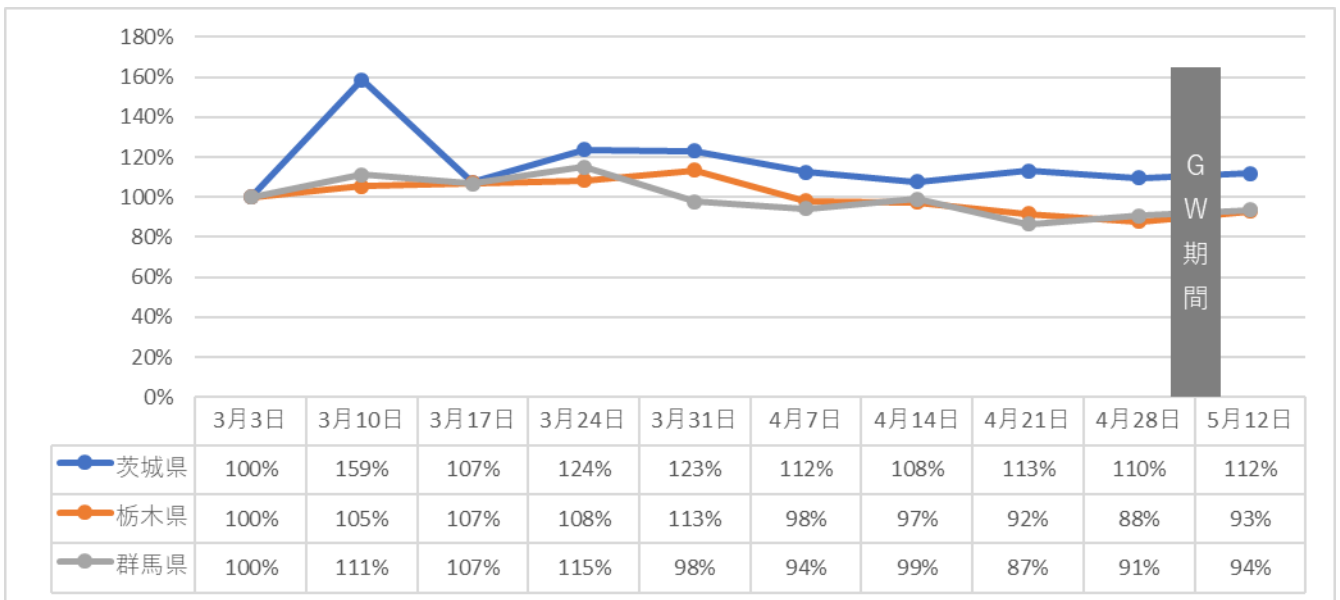
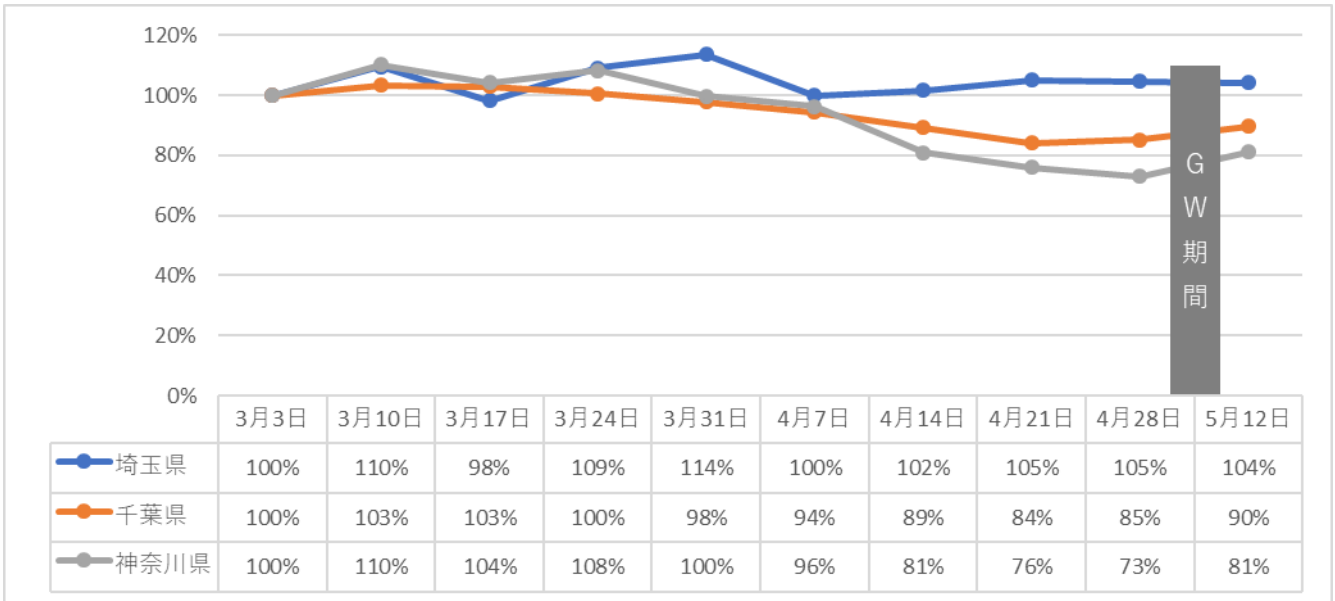
■5月12日（火）時点の企業 IP アクセス数（数値の大きい順）

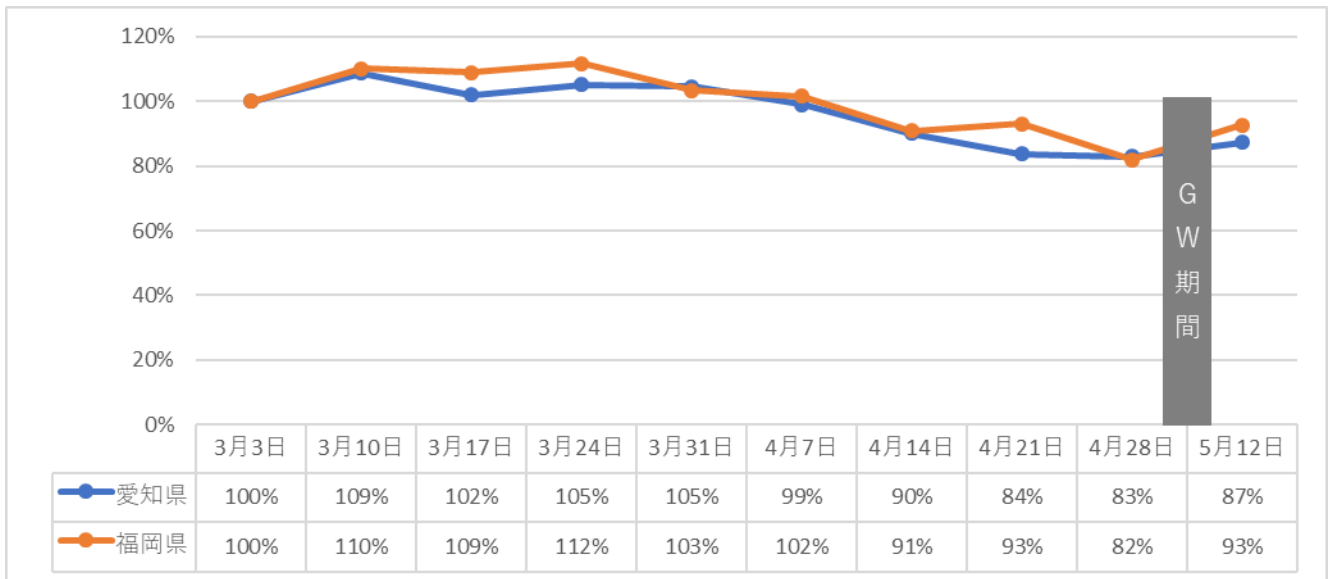
茨城県 112%、埼玉県 104%、群馬県 94%、栃県木 93%、福岡県 93%、千葉県 90%、東京都 89%、兵庫県 89%、愛知県 87%、北海道 83%、神奈川 81%、大阪府 79%

■4月28日（火）と5月12日（火）時点の企業 IP アクセス数（数値の大きい順）

岡山 11%増、兵庫県 9%増、神奈川県 8%増、東京都 6%増、栃木県 5%増、千葉県 5%増、大阪府 5%増、愛知県 4%増、北海道 3%増、群馬県 3%増、茨城県 2%増、埼玉県 1%減







【調査概要】

- ◆調査対象：「Select DMP」が保有する約 4 万社のユニーク Windows ブラウザ数
 - ◆調査方法：約 4.7 億のオーディエンスデータ「IM-DMP」と「Select DMP」保有の IP アドレスと企業名を掛け合わせて算出
 - ◆実施日時：2020 年 2 月 25 日（火）～5 月 12 日（火）
 - ◆対象企業数：「Select DMP」が保有する約 4 万社
 - ◆「IM 働き方改革に関する調査レポート」特設サイト：<https://sites.google.com/intimatemerger.com/ipcom/>
- ※「IM 働き方改革に関する調査レポート」特設サイトは記者に向けて公開しているサイトです。

<「IM 働き方改革に関する調査レポート」特設サイトについて>

本サイトについての独自レポートおよびキャプチャー画像をご利用いただく場合は、下記より申請をお願いいたします。

なお、キャプチャー画像を記載する際は下記クレジットをお書き添えの上ご使用ください。

なお、プレスリリースの情報のみを掲載する場合は申請およびクレジット表記の必要はありません。

▼クレジット表記：© Intimate Merger, Inc. All Rights Reserved.「IM 働き方改革に関する調査レポート」

▼申請フォーム：

https://docs.google.com/forms/d/1FdRCPHheCX-ZOdRXgnU6p_uxp7LTMVH3-AEk7SM7oX0/edit